

千葉港 千葉中央地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業

千葉港湾事務所

事業の概要（千葉中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業）

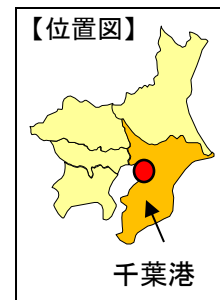
【事業の目的】

千葉港において、貨物需要の増加に伴うRORO船の大型化等に対応するとともに、大規模地震に対応する耐震性能を有する岸壁整備を行うため、千葉中央地区において岸壁の（増深・耐震）改良、泊地の浚渫等の港湾施設の整備を行う。

【事業の概要】

- ・ 整備施設：岸壁（水深9m）（改良）
泊地（水深9m）
防波堤、ふ頭用地
- ・ 事業期間：令和2年度～令和6年度
- ・ 総事業費：78億円（うち直轄 75億円）

【整備スケジュール】



地区名	事業区分	施設名	全体数量	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
千葉中央	直轄	岸壁(水深9m)(改良)	220	m					
		泊地(水深9m)	1.5	ha					
		防波堤	140	m					
	起債	ふ頭用地	6.3	Ha					

事業の効果

- 大型船に対応でき、1隻の船舶で輸送できる貨物量が増加することにより、海上輸送の効率化が図られることで輸送コストが削減される。
- トラックドライバー不足や高齢化など将来的な輸送力不足が懸念される中、本事業の実施により、船舶の大型化が図られ、内航RORO船による輸送力が増強されることにより、将来的な貨物輸送需要への対応が可能となる。
- 船舶の大型化による物流効率化が図られ、地域企業の輸送ニーズや物流コスト削減への対応が進むことにより、競争力が向上し、地域の安定した発展が期待される。
- 大規模地震発生時においても、耐震強化岸壁を利用した、地域の産業活動及び地域住民の生活が維持される。
- 震災時における輸送コストの増大回避が図られる。
- 本事業の実施により、輸送効率化、モーダルシフト需要等への対応が可能となり、排出ガス(CO₂・NO_x)が削減される。
- モーダルシフトの進展により、首都圏流入車両が削減され、渋滞緩和に寄与する。

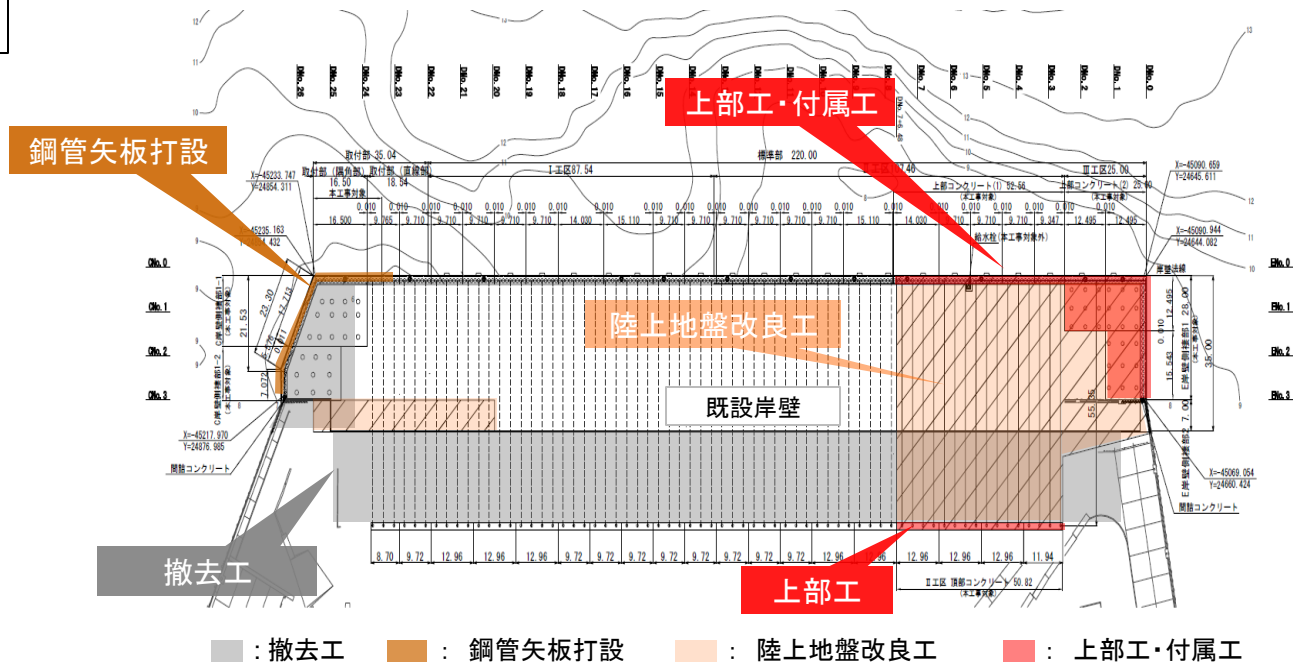
など

工事概要

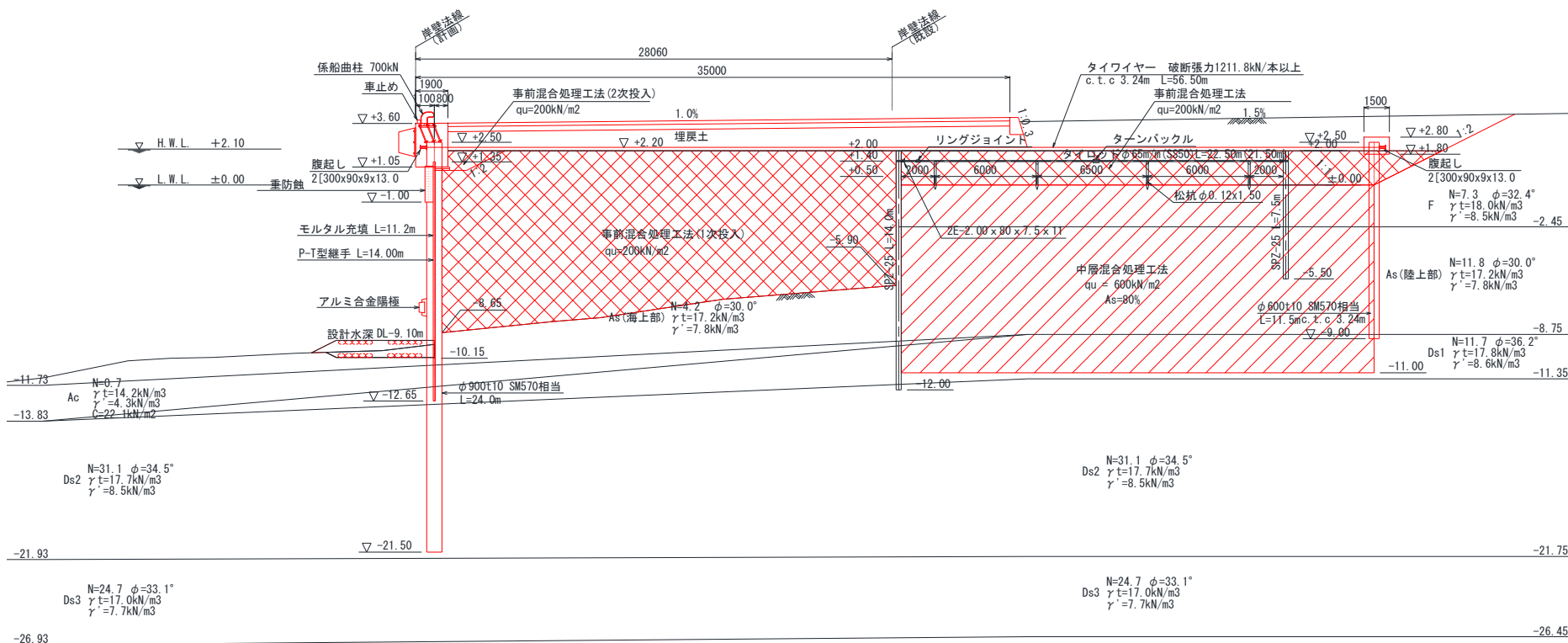
■ 工事概要

- 工事件名: 令和4年度千葉港千葉中央地区岸壁(-9m)(改良)築造工事
- 工事場所: 千葉県千葉中央地区中央港地先
- 工事期間: 令和4年11月1日～令和5年9月29日
- 工事内容:
 - ・撤去工 舗装版撤去、上部コンクリート撤去
 - ・本體工 鋼管矢板打設、控鋼杭、タイワイヤー
 - ・陸上地盤改良工 中層混合処理、事前混合処理、高圧噴射攪拌
 - ・上部工 上部コンクリート
 - ・付屬工 係船柱、防舷材、梯子、車止め、縁金物

■ 全体平面図



●改良断面図 (控え直杭矢板式構造)



<代表断面>

■ 平面図

